



四国家のお宝
Treasure of Shikoku-ke

シリーズ第6弾
シコクバイカ
オウレンII



佐川町長 & 高知駅長お薦め!



「四国家のお宝」2018年 第1弾!

佐川で 大地の歴史と 小さな 春を呼ぶ森の妖精 シコクバイカオウレン with ひな祭り

日帰り
お宝ツアー

シコクバイカオウレン

花言葉は
「2度目の恋」



佐川町出身の世界的植物学者・牧野富太郎博士が学名を命名し、最も愛した花として知られる常緑の多年草。12月～3月の花期には12mm程の白く可憐な花を咲かせ、親しまれています。町内の牧野公園はシコクバイカオウレンの観賞地として注目を集めています。地質学のメッカといわれる四国の中でも、重要な役割を果たしてきた佐川盆地は石灰岩と蛇紋岩の影響で独自の植物分布を形成してきました。佐川町のように比較的標高の低い地域に自生するシコクバイカオウレンは珍しく、牧野富太郎博士もこの花などを採集し、植物への興味を広げたといわれています。

1 佐川地質館



研究史コーナー(各地質図の変遷)



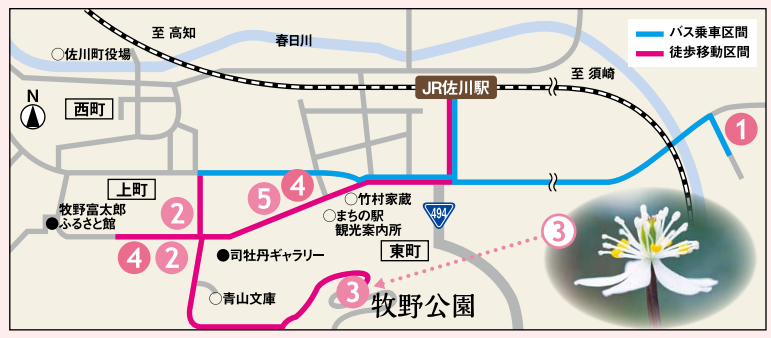
動く大陸装置(プレートテクトニクス)

【学芸員さんから】

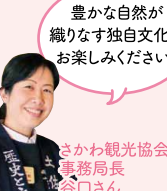
佐川盆地は、西南日本外帯の典型的な地質構造をした地域で、古くから研究が進められてきました。明治8年来日し、わが国の地質学発展の基礎を築いたエドモンド・ナウマン博士並びに、四国の構造発達史を中心として日本列島の構造発達史を解明した小林貞一博士など多くの精力的な研究によって、佐川の地質は日本を代表する地域となっています。シコクバイカオウレンを観賞する前に、佐川地質館で佐川の地形・地質、ナウマン博士、小林博士の紹介やプレート運動を解説する動く大陸装置(プレート・テクトニクス)などで地球と生命の歴史をいろいろな角度から学んでみませんか。

出発日 ▶ 平成30年
3月2日<金>・3日<土> (限定2回)

- 募集人員 / 各日25名様(最少催行人員 / 各日8名様)
- 添乗員 / 同行いたしません、佐川駅から当社係員が同行します。
- 食事条件 / 昼食(弁当)1回 ■ 歩行距離 / 約3km
- 参加条件 / 歩きやすい服装、履き慣れた靴でご参加ください。
- 貸切バス会社 / 有限会社黒岩観光



2 旧浜口邸(国登録有形文化財) さかわ観光協会、名教館



豊かな自然が
織りなす独自文化を
お楽しみください。

【旧浜口邸】築約160年、江戸中期より酒造業を営み栄えた商家の住宅。現在はさかわ観光協会が地元のお土産販売や古民家カフェを運営。【名教館】多くの維新の志士や偉人を輩出してきた由緒ある建物。礎は、佐川領主・深尾氏が創設した家塾。(玄関・建物の一部が平成26年に現在地に移築された。)

4 ひな祭り・佐川文庫庫舎・竹村家住宅(国指定重要文化財)



【佐川文庫庫舎】明治初期の雰囲気や現在に伝える県下最古の木造洋館。【竹村家住宅】江戸時代より酒屋として栄えた佐川屈指の商家、国指定重要文化財。上町地区にて各家に代々伝わるひな飾りや古い街なみの格子を利用した手作りの格子びなを展示します。

5 上町酒ぶら歩き(自由散策)



町内(上町地区)約10ヵ所でのひな飾りを展示。

【旧竹村呉服店(キリン館)】

<p>ご昼食</p> <p>土佐の奥座敷さかわ老舗の折詰弁当</p>	<p>佐川町からのお接待</p> <p>昼食時、「酒どころさかわの粕汁」 昼食後、「抹茶+蒸し羊羹」</p>	<p>佐川町からのお土産(プレゼント)</p> <p>「霧生園のシュークリーム」と バイカオウレンA6クリアファイル</p>
------------------------------------	--	--

佐川地質館学芸員・牧野公園専門案内人・さかわ観光協会およびくろがね会ガイドが説明・ご案内



※四国各駅から佐川駅までの時刻については裏面をご覧ください。

※写真はすべてイメージです。



JR四国 旅の予約センター
☎087-825-1662
営業時間 / 平日10:00~18:00 土・日・祝日10:00~17:00

インターネットでのお申し込み
JR四国ツアー 検索
<http://www.jr-eki.com/>



